

「日々の理科」(第1927号) 2019,10,19  
水彩画教室「小海線と千曲川」  
お茶の水女子大学附属小学校教諭  
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員  
田中 千尋 Chihiro Tanaka

小海線と千曲川は切り離せない縁があります 信濃川上駅よりも北側では 小海線の線路は千曲川沿いに敷かれています 川に沿っているだけではなく 千曲川を七回も渡ります しかし台風19号の水害で 千曲川は荒れ果て 小海線も不通になっています 列車通学の高校生が心配です 復旧にあたっている保線区の人 は 一日も早く安全に列車を走らせようと きっと危険を覚悟で工事しているにちがいありません この美しい千曲川の風景に 気動車のエンジン音が響く日が来ることを願っています



これが完成した絵です



1、遠くの山は 青紫色で淡く描きます これ  
は季節とはあまり関係がなく 同じような色  
味で良いと思います



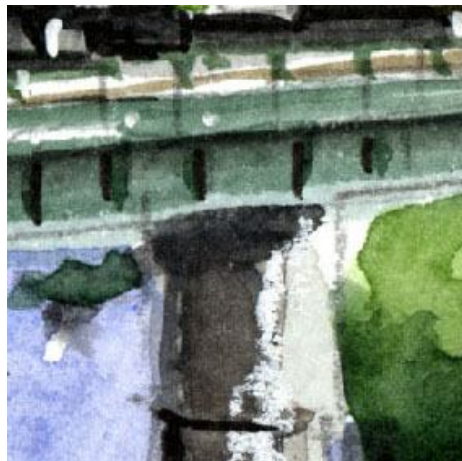
2、針葉樹の森は シADOW・グリーンを使っ  
て「縦の一筆」を重ねて描きます



3、紅葉の手前に 地味な色の民家を描くと  
その対比でどちらも引き立つようになります



4、主題の列車はしっかり描く必要がありま  
す しかし列車だけ細かく描き過ぎないこと



5、橋げたと橋脚も大切な「部品」です 立体  
感を表現する「影」のつけ方が重要です



6、水面に反映する橋脚や転石の表現 黒と  
白のパステルを 指で下に伸ばしています